

水系高日射反射率塗料

## クールシリーズ

水系

- 遮熱効果
- 高耐候性
- 低汚染性
- 防かび性
- 防藻性

JIS K 5675 屋根用高日射反射率塗料  
1種(水系) 2級(シリコン)全明度

クールトップSiスーパー

JIS K 5675 屋根用高日射反射率塗料  
1種(水系) 3級(ウレタン)全明度

クールトップUスーパー

壁用高耐候性水系反応硬化形  
アクリルシリコン樹脂系塗料

カベクールSi

壁用多機能形水系  
アクリルシリコン樹脂系単層弾性塗材

セラビューレCOOL

環境技術  
実証事業

ETV 環境省

ヒートアイランド対策技術分野

第三者機関が実証した性能を公開  
しています  
[www.env.go.jp/policy/etv](http://www.env.go.jp/policy/etv)  
※本カタログに掲載していることを  
認定したものではありません

商品名	実証番号
クールトップSiスーパー	051-0953
カベクールSi	051-0956

建築塗料の総合メーカー

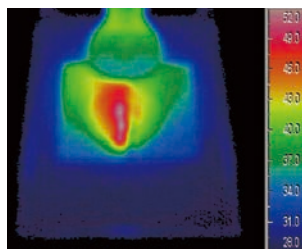

**スズカファイン株式会社**

COOL SERIES

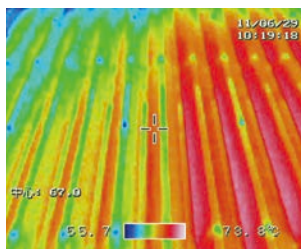
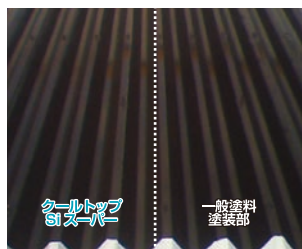
# 屋根にも壁にも "COOL" な塗料

クールシリーズは近赤外線反射形顔料と中空セラミックバルーンを使用することで近赤外線を効率よく反射し、熱の発生を抑えます。また中空セラミックバルーンを添加することで熱伝導を抑制し、外部からの熱影響を受けにくくしています。

## サーモグラフィーで見る遮熱の効果



遮熱試験(室内) [色: CS0327]



鋼板屋根 [色: CS0391]

## 壁用標準色

カベクールSi・セラビューレCOOL

日射反射率レベル 【近赤外線反射率：80以上】



↑CS4558 (淡彩)



↑CS5008 (淡彩)



↑CS2048 (淡彩)



↑CS0018 (淡彩)



↑CS0028 (淡彩)



↑CS4018 (淡彩)



↑CS2018 (淡彩)



↑CS6028 (淡彩)

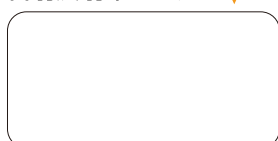


↑CS3528 (淡彩)

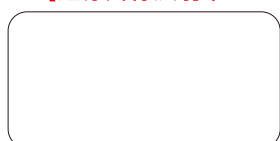


↑CS4038 (淡彩)

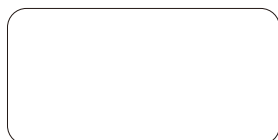
日射反射率レベル 【近赤外線反射率：65~80】



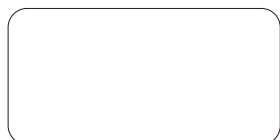
↑CS6077 (淡彩)



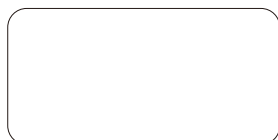
↑CS4287 (淡彩)



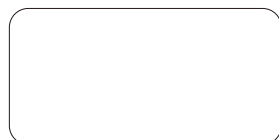
↑CS4197 (淡彩)



↑CS4117 (淡彩)



↑CS4207 (淡彩)



↑CS3226 (中彩)



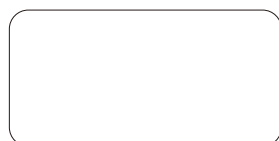
↑CS3037 (淡彩)



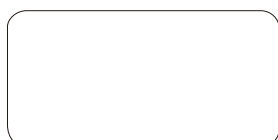
↑CS3507 (淡彩)



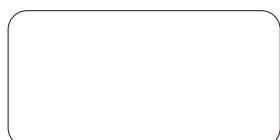
↑CS3586 (中彩)



↑CS3596 (中彩)



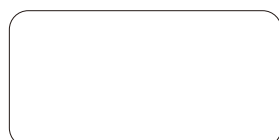
↑CS6507 (淡彩)



↑CS0057 (淡彩)



↑CS0106 (淡彩)



↑CS0097 (淡彩)

# 屋根用標準色

クールトップ Si スーパー・クールトップ U スーパー

日射反射率レベル **【近赤外線反射率：80 以上】**



↑CS0118 (淡彩) ★★★



↑CS0308 (淡彩) ★★★



↑CS2218 (淡彩) ★★★



↑CS4838 (淡彩) ★★★



↑CS7018 (淡彩) ★★★



↑CS8018 (淡彩) ★★★



↑CS4758 (淡彩) ★★★



↑CS2758 (淡彩) ★★★

日射反射率レベル **【近赤外線反射率：65～80】**



↑CS0327 (淡彩) ★★



↑CS0356 (中彩) ★★



↑CS0375 (中彩) ★★



↑CS7215 (中彩) ★★



↑CS3826 (中彩) ★★



↑CS3856 (中彩) ★★



↑CS3915 (中彩) ★★



↑CS2776 (中彩) ★★



↑CS8037 (淡彩) ★★



↑CS8056 (中彩) ★★



↑CS7027 (淡彩) ★★



↑CS7056 (中彩) ★★

日射反射率レベル **【近赤外線反射率：40～65】**



↑CS2303 (濃彩) ★



↑CS2313 (濃彩) ★



↑CS2323 (濃彩) ★



↑CS2352 (濃彩) ★



↑CS0393 (濃彩) ★



↑CS8252 (濃彩) ★



↑CS2371 (濃彩) ★



↑CS0391 (濃彩) ★



↑CS8204 (濃彩) ★



↑CS8224 (濃彩) ★



↑CS8104 (特彩黄) ★



↑CS8123 (特彩黄) ★



↑CS7234 (濃彩) ★



↑CS7104 (濃彩) ★



↑CS7123 (特彩紺) ★



↑CS7152 (特彩紺) ★

**遮熱塗料**

遮熱効果 ★★★★★

日射侵入比 (1に対して) 0.8~0.6 0.6~0.4 0.4>

一般社団法人 日本塗料工業会

**「遮熱塗料（屋根用）」業界基準**  
 日本塗料工業会では、遮熱効果の基準を満たした塗料を、申請によって「遮熱塗料（屋根用）」として登録しています。日射侵入比は、太陽熱に対する遮熱効果（どのくらいの熱が室内側に伝わるか）を比率で表した数値です。その遮熱効果を★数で区分しています。なお、塗膜品質に関する保証、責任は、塗料製造会社および塗料販売会社が負うものとなります。詳細は、日塗工ホームページでご確認ください。  
 一般社団法人 日本塗料工業会

- ・各製品とも、標準色設定のみとなります。
- ・色見本は紙に塗装していますので、実際の仕上がりで色・つやが多少異なります。ご了承ください。
- ・色によって材料費が割高になるものや調色扱いとなるものがありますのでご了承ください。
- ・広い面積に塗装した場合、実際の色が見本帳の色より多少明るく見える場合があります。
- ・近赤外線反射率は、クールトップSiスーパー、カベクールSiの測定結果に基づく標準的な表示です。測定条件および製品により若干増減する場合があります。

- ・高日射反射率塗料を塗装する場合、特殊な調色を行っておりますので、塗分量が少ない場合、色相が変化して見たり、隠ぺい不足などが生じますので、標準塗装仕様をお守りください。また、市販の種ペンなどでの調色は行わないでください。
- ・既存塗膜と同等の明度の色または薄い色での塗替えをお奨めします。明度が高い既存塗膜を明度が低い高日射反射率塗料で塗替えても遮熱効果が得られない場合があります。

# 標準塗装仕様

## ■クルトップ Si スーパー・クルトップ U スーパー

### ■屋根■

#### 化粧スレート瓦

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	・表面のせい弱部、劣化している既存塗膜、こみ、汚れなどを高圧水洗で除去する。 ・(板と板の隙間には入念に清掃する。素地は十分に乾燥させる。(1日以上放置する。))					
下塗り	クルトップワイド	100	0.08~0.17	1	16時間以上	はけ塗り ワールローラー塗り エアレス塗り
上塗り	クルトップシリーズ 清 水	100 0~10	0.12~0.15	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ワールローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：クルトップ Si スーパー、クルトップ U スーパー  
 □中塗りにシャオングールを使用すると更に高い遮熱効果、防音効果が得られます。  
 □化粧スレート瓦の場合、上下の板の重なり部分にすまわが少い場合は、塗装前にスベサー部材(タスペーサー等)を挿入し、排水機能を維持してください。塗装後にもよみおえ、皮スキなどで縁切りする場合は、塗膜を傷めないように十分注意してください。  
 □アスファルトシングル材の場合、下塗りはスカルマシラー、ベスコロフィル COOL が使用できます。(但し、スカルマシラーを使用し、下塗りにリフン、ホワイトシーラー EPO も使用できます。  
 □スレート板に塗装する場合、下塗りにリフン、ホワイトシーラー EPO も使用できます。  
 □下地調整塗材にベスコロフィル COOL が使用できます。  
 □事前に既存塗膜の溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。

#### 鋼板屋根

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	・鋼板の発錆部は、サンダー、ワイヤブラシ、ペーパーなどを用いて入念に除去する。 ・はがれ、チョーキングなどの劣化塗膜は、皮スキ、サンダー、ブラシで入念に除去する。 ・油類類は、シンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は、高圧洗浄機による水洗いで洗浄する。 ・素地は十分に乾燥させる。					
下塗り	エポワールワイド	100	0.12~0.16	1~2	16時間以上	はけ塗り ワールローラー塗り エアレス塗り
上塗り	クルトップシリーズ 清 水	100 0~10	0.12~0.15	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ワールローラー塗り エアレス塗り

□上塗りの種類：クルトップ Si スーパー、クルトップ U スーパー  
 □フックボルト部、鋼板の折り曲げ及び接合部などで、エポワールワイドの膜厚が薄くならないように増塗りしてください。  
 □下塗りとして、EM エポワール、ワイドラスン COOL も使用できます。  
 □中塗りにシャオングールを使用すると更に高い遮熱効果、防音効果が得られます。  
 □塩化ビニル被覆鋼板の場合は、下塗りにリフンを 2 回塗してください。  
 □事前に既存塗膜の溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。  
 □EM エポワールで塗り替える場合、事前に付着性を確認してください。  
 □(活膜は自直しを行い、カラートンは研磨剤 P240 で研磨後溶剤拭きしてください。)  
 注)JS K 5675 屋根用高日射反射率塗料に適用する下塗材はリフン、ワイドラスン COOL、ホワイトシーラー EPO になります。詳しくは別途お問い合わせください。

## ■カベクール Si

### ■外壁■

#### セメント系系地(コンクリート・モルタル・PCパネル・ALCパネル・窯業系サイディングボードなど)

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	・素地は十分に乾燥させる。(含水率 10% 以下、pH10 以下) ・素地のレイトン、エプロレスセン、汚れは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは予めラフトンファイラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
下塗り	EM クールシーラー 清 水	100 5~20	0.10~0.12	1	3時間以上	はけ塗り ワールローラー塗り エアレス塗り
上塗り	カベクール Si 清 水	100 5~15	0.15~0.20	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ワールローラー塗り エアレス塗り

□下塗りには、クールシーラー S、クールシーラーワイドも使用できます。  
 □塗り替えの場合、リメックブラ・リメックシーラー EPO を用いる仕様も可能です。  
 □中塗りにシャオングール・断熱クールバインダーを使用すると更に高い遮熱効果、防音効果が得られます。

#### 一 防音・断熱仕様一

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	・素地は十分に乾燥させる。(含水率 10% 以下、pH10 以下) ・素地のレイトン、エプロレスセン、汚れは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは予めラフトンファイラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
下塗り	EM クールシーラー 清 水	100 0~5	0.10~0.12	1	3時間以上	はけ塗り ワールローラー塗り エアレス塗り
中塗り	シャオングール 清 水	100 0~10	0.25~0.30	2	(工程内) 4時間以上 16時間以上	はけ塗り パターンローラー塗り(細目) エアレス塗り
上塗り	カベクール Si 清 水	100 5~15	0.15~0.20	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ワールローラー塗り エアレス塗り

□シャオングールのエアレス塗りでは、1 回塗りで 0.5kg/m<sup>2</sup> が可能です。

#### 金属系系地(鉄・亜鉛鉄板・アルミニウム・ステンレスなど)

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	・鋼板の発錆部は、サンダー、ワイヤブラシ、ペーパーなどを用いて入念に除去する。 ・はがれ、チョーキングなどの劣化塗膜は、皮スキ、サンダー、ブラシで入念に除去する。 ・油類類は、シンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は、高圧洗浄機による水洗いで洗浄する。 ・素地は十分に乾燥させる。					
下塗り	エポワールワイド	100	0.12~0.16	1	16時間以上	はけ塗り ワールローラー塗り エアレス塗り
上塗り	カベクール Si 清 水	100 5~15	0.15~0.20	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ワールローラー塗り エアレス塗り

□下塗りには、ワイドラスン COOL、EM エポワールも使用できます。  
 □中塗りにシャオングールを使用すると更に高い遮熱効果、防音効果が得られます。  
 □塩化ビニル被覆鋼板の場合は、下塗りにリフンを 2 回塗してください。  
 □EM エポワールで塗り替える場合、事前に付着性を確認してください。  
 □(活膜は自直しを行い、カラートンは研磨剤 P240 で研磨後溶剤拭きしてください。)  
 注)建物の構造、塗装部位(雨のかりが少い面、汚れが多量に集まる面など)によっては、低汚染効果が発揮されないことがありますのでご了承ください。

## ■セラビュール COOL

### ■外壁■

#### セメント系系地(コンクリート・モルタル・PCパネル・ALCパネル・窯業系サイディングボードなど)

工程	塗料	調合(重量比)	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法
下地調整	・下地は十分に乾燥させる。(含水率 10% 以下、pH10 以下) ・下地のレイトン、エプロレスセン、汚れは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは予めラフトンファイラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
下塗り	EM クールシーラー 清 水	100 5~20	0.10~0.12	1	3時間以上	はけ塗り ワールローラー塗り エアレス塗り

□下塗りには、クールシーラー S、クールシーラーワイドも使用できます。  
 □塗り替えの場合、リメックブラ・リメックシーラー EPO を用いる仕様も可能です。

#### 【パターンローラー仕上げ】

基礎塗り	セラビュール COOL 清 水	100 0~5	0.7~0.8	1	3時間以上	パターンローラー塗り
模様塗り	セラビュール COOL 清 水	100 0~5	0.7~0.8	1	(最終養生) 24時間	パターンローラー塗り

#### 【平吹き仕上げ】

基礎塗り	セラビュール COOL 清 水	100 0~10	0.5~0.6	1	3時間以上	吹付け(リシガン) 口径 4~6mm 吹付圧 0.4~0.6MPa
模様塗り	セラビュール COOL 清 水	100 0~10	0.5~0.6	1	(最終養生) 24時間	吹付け(リシガン) 口径 4~6mm 吹付圧 0.4~0.6MPa

クルトップ Si スーパー・クルトップ U スーパー：屋根  
 カベクール Si・セラビュール COOL：建築物外壁

#### 【クルトップ Si スーパー・クルトップ U スーパー】

- 化粧スレート瓦・鋼板屋根など

#### 【カベクール Si】

- コンクリート・モルタル・PC パネル・ALC パネル  
スレート・窯業系サイディングボード  
鋼板・鋼材・アルミ・ステンレスなど

#### 【セラビュール COOL】

- コンクリート・モルタル・PC パネル・ALC パネル  
スレート・窯業系サイディングボードなど

## 容量

	商品名	容量	系統
上 塗	クルトップ Si スーパー	16kg	水系
	クルトップ U スーパー	16kg	水系
主 材	カベクール Si	16kg	水系
	セラビュール COOL	16kg	水系
中塗り	シャオングール	18kg	水系
	断熱クールバインダー	10kg	水系
	EM クールシーラー	16kg	水系
	クールシーラー S	14kg	溶剤系
下 塗	クールシーラーワイド	14kg	弱溶剤系
	EM エポワール	16kg	水系
	エポワールワイド	16kg・4kg	弱溶剤系
	ワイドラスン COOL	18kg セット	弱溶剤系
	リフン	16kg セット・3.2kg セット	弱溶剤系
	ホワイトシーラー EPO	15kg セット・5kg セット	溶剤系

## 色 相 標準色

### ■塗装上の注意事項

- 洋風コンクリート瓦(モニエル瓦など)、粘土瓦(いびし瓦、釉薬瓦など)には使用しないでください。
- 素地調整は入念に行い、十分に乾燥させてください。素地調整及び乾燥が不十分な状態で塗装しますと、膨れ、はがれ、割れなどの原因になります。
- 塗料の既着塗膜の劣化が著しい場合や素地表面が露出し、せい弱な場合は、塗替え塗膜の剥離の原因となる可能性があります。そのため、塗装は避け、屋根材の貼り替えをお奨めします。
- 気温 5℃以下、湿度 85%以上または結露が懸念される場合は塗装を避けてください。
- 強風時や降雨・降雪のおそれのある場合は塗装を避けてください。
- 水濡時の屋根は、滑りやすいので元元にご注意ください。
- セメント系の屋根材で築地への吸い込みが多い箇所は、下塗りを増し塗りしてください。また、下塗り乾燥後に、ガムテープで基材表面からの剥がれがつかを確認し、剥がれがある場合は、基材表面のせい弱部を除去し、下塗りを再塗装してください。
- エアレス塗装の場合、エアレス機の中に他の塗料や洗浄用液が残っていることが多いため、予めよく通してからご使用ください。
- 吹付・エアレス塗装の場合は、周囲への飛散防止に十分注意し、養生などを行ってください。
- 使用前に十分攪拌し、均一してから塗装してください。
- 2液形塗料は、主剤・硬化剤を正確に計量混合し、均一してから塗装してください。また、可使用時間にご使用ください。
- うすめずきは、たるみ、隠れ不足、つや不陸、色相の変化などを生じますのでご注意ください。
- 仕様の各数値は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法・環境などによって増減することがあります。
- 各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- 上塗りの最終養生時間(24時間以上)は厳守してください。乾燥過程で雨が降りますと、本来の塗膜効果が得られませんので、養生シートなどで適切な処置をしてください。
- 塗膜乾燥初期の降雨により、塗膜から界面活性剤が溶出し、雨水が集中する箇所での泡の発生、COD値上昇の可能性がります。雨水が河川に流入する恐れがある場合、地域の排水基準に則した管理を行ってください。
- 低温又は高湿度などの気象条件下では、塗膜の乾燥が遅れるため、降雨の影響を受けやすい施工計画を立ててください。
- シリコン材への直接塗装は、塗膜に割れ、はがれ、汚れの原因となるために行わないでください。特にクールシーラーをシリコン材に直接塗装すると硬化不良を起します。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシリコン材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン塗プライマーを塗装してください。(ポリアルファイト系シリコン材の場合は 2 回塗してください。シリコン系及びフッ素系シリコン材には、塗装を避けてください。)
- 被塗物の形状、膜厚、色目、塗装回数、希釈率によりつやが異なる場合がありますのでご了承ください。施工前に必ず試塗りを行い、つや等の仕上りを確認したうえで、本施工を行ってください。
- 塗膜上に鳥の糞、砂、泥、有機物(木の葉)、金属(くさ)などを放置すると、塗膜の変色、剥離などの悪影響を及ぼします。その都度清掃してください。
- 常時、高温・高湿度になる箇所や、酸性・アルカリ性物質が当たる箇所は劣化が早くなる可能性があります。
- 詳細な塗装上の注意事項は、各製品のカタログを参照してください。

### ■取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を備用してください。
- 防護マスク・顔巾・保護メガネ・長袖の作業衣・入り替えタイ・保護手袋・前掛けなど
- 容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るが、砂などを散布したのち処理してください。
- 患部に付着した場合には、直ちに多量の石けんで洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 蒸気・匂いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所まで安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の清水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器を密閉し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。
- 雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 取扱いの容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますが、必ずお読みください。安全にご使用ください。特に引火及び有毒の危険性がある製品は、十分注意し、安全対策を行ってください。
- 詳細な内容が必要なときは、安全データシート(SDS)をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191  
 研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-2555  
 大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621

取扱店

URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

●この見本帳に記載の内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。  
 ●この見本帳に記載以外の素地や仕様で塗装される場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。